



## IV. 健康食品管理士になって

### 健康食品管理士になって

田中 友里子

(鈴鹿医療科学大学大学院医療学研究科修士課程修了)

#### はじめに

私が健康食品管理士になったのは、大学3年の時です。その頃私は、鈴鹿医療科学大学の栄養学科で学んでいました。夏休みに、健康食品管理士の資格取得のための講義があると聞き、興味を持ち、受講しました。取れる資格は取っておこうと思ったことも理由です。いざ授業を受けて見ると、長村教授の話はとても面白かったです。今まで知らなかった、いわゆる健康食品による健康被害のことや、違う視点から見た管理栄養士の分野…。ワクワクしたことを覚えています。夏休みでしたが、有意義に過ごせました。長村教授の話をもっと聞いてみたい、健康食品管理士の勉強をしたい、そう思いました。このことが、私の大学生活で大きな分岐点となりました。

その後、後期の授業が始まりました。3年次の後期といえば、毎日午前中は座学、午後は実験や実習、そして毎回出されるレポート…。グループ発表等のミーティングで夜遅くまで大学に残る毎日。土日も課題をこなすことに追われ、忙しい日々でした。そんな中、半ば忘れかけていた健康食品管理士の試験が11月に行われました。そのことに気がついたのは、試験1週間前。私や講義を受けた友人たちは、大慌てで通学の電車や講義の合間にテキストを読み返しました。そして、11月に健康食品管理士の試験を受け、合格することができました。付け焼き刃の知識も同然でしたが、健康食品管理士試験の勉強は管理栄養士の勉強と重なるところもあり、その内容は理解しやすかったのだと思います。健康食品管理士を受験したことは、管理栄養士の勉強にもなりました。これまで分からなかった所は理解できるようになり、また分かっていた所でもしっかりと深く理解できた

ようになったと思います。

そして、4年になる時のゼミ選択では、長村教授のゼミを選択しました。このゼミの選択は、卒業研究の内容もですが、何より3年次休みに受けた長村教授の講義が面白かったことを覚えていたからです。このゼミを受けていた時には、長村教授が理事長をされている日本食品安全協会の事務局に出入りし、会誌の発送や協会主催の市民講座の準備や受付などをしたりしました。また、普段ゼミ室で勉強している時にも長村教授に健康食品に関する話をさせていただきました。いわゆる健康食品でも時と場合によっては健康被害をもたらすこと、はっきりとした根拠のない健康食品があることなど、興味は尽きませんでした。

しかし、就職活動の時、健康食品管理士についてはほとんど知られておらず、面接で健康食品管理士について聞かれて答えても、面接官の方々はピンときていない様子でした。某有名ドラッグストアでも、健康食品管理士については触れられることはなかったと思います。その就職活動時、病院や施設の就職活動をしなかったので分かりませんが、健康食品管理士についてあまり知られていなかったのではないのでしょうか。

今では、健康食品管理士は少しずつ認知されているようです。ですが、それは施設や企業に限ったことで、一般には健康食品管理士はまだまだ知られていません。ドラッグストアでも、登録販売員は必ずいますが、健康食品管理士は見たことがありません。ネームプレートに書かれていないせいもあるかと思いますが、それは世間に知られていないことの現れだと思います。一般の人々にも健康食品管理士が知られるようになればと思います。